＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
元気な農業支援事業

1 事業概要

【目的】
農業者の経営安定・発展を支援し、市内農業者数の増加や、農産物の安定供給を図ります。

【内容】
農業者が購入する農業機械設備に係る経費の一部を補助します。認定農業者は3/10以内、認定新規就農者は5/10以内、いずれも限度額20万円。認定農業者以外の農産物販売額年額50万円以上の農業者は3/10以内、限度額10万円。

【効果】
農業者の作業効率化、作業軽減化、農業者の維持、農地の保全等が期待されます。

【事業費】
5,000千円（この内1,000千円は、認定農業者以外の農産物販売額年額50万円以上の農業者分）

【補助条件等】
・購入する農業機械設備について国及び県の補助を受けていないこと
・市税に滞納がないこと
・農業機械設備購入の発注前に申請手続きが必要
・農業以外への使途が可能なトラック、バックフォー、フォークリフト等は対象外
・事業期間は３年間

2 特徴やPRポイント

【特徴】
認定農業者、認定新規就農者、それ以外の小規模農業者へも支援を行い、広く農業者を支援します。

【ＰＲポイント】
この事業は、新規の市単独補助事業です。自然災害や資材費高騰等厳しい環境にある農業者を応援し、農業の振興を図ります。

3 その他

申請書類、受付期間等は、市ホームページやくまがや農委だより等でお知らせする予定です。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　産業振興部農業振興課　　担当　田島
連絡先　048-588-9990（直通）　　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
立正大学データサイエンス学部連携推進事業

1 事業概要

【経緯】
立正大学は法学部や心理学部など文系中心でしたが、デジタル人材の需要を見据えて新学部の設置を決め、令和３（2021）年、熊谷キャンパスに文理融合型のデータサイエンス部を新設しました。

【目的】
アンケート調査の作成や回答結果の分析、また市が保有するデータの分析を立正大学データサイエンス学部に依頼する仕組みを新たに作ることで、本市のデータ活用の促進と立正大学との更なる連携を図ります。

【内容】
アンケート調査の作成や分析、データ分析に要する経費を支払います。

【効果】
・本市のデータ活用の促進
・立正大学との更なる連携

2 特徴やPRポイント

【特徴】
立正大学熊谷キャンパスに令和３年４月から開設されたデータサイエンス学部との更なる連携を図ります。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　産業振興部商工業振興課　　担当　内田、大谷
連絡先　048-524-1111　　内線　467

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業

1 事業概要

【目的】
本市２番目のまちづくり会社（※）である「株式会社まちづくり熊谷」の業務を支援し、人・もの・金・情報の循環を再生させることでまちの活性化を図ります。

【内容】
本市の産業振興にかかる調査研究及び将来ビジョンの検討に対して補助するとともに、若手経営者等との交流を図るための懇談会、熊谷青年会議所等の会員を対象にしたまちづくり勉強会の開催等に補助を行います。

【効果】
民主導による産業振興策の提案を受けることで、本市に有用な産業施策の検討に資することができるとともに、懇談会等により、人的ネットワークの形成やまちづくり人材の育成を図ることができます。

※まちづくり会社とは・・・地域振興などを目的として、国や地方公共団体、民間事業者等の共同出資で設立された公共性の高い会社

2 特徴やPRポイント

民間のまちづくり会社が本市全体を見据えた産業振興策を検討することで、市の組織の枠を超えた調査研究やビジョンの提案を受けることができます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　産業振興部商工業振興課　　担当　斉藤
連絡先　048-524-1111　　内線　545

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」農産物ブランド化推進事業

1 事業概要

【目的】
農業振興による地域の活性化と農業者の所得向上のため、熊谷市農産物ブランド化推進協議会を設置し、熊谷産の農産物及び農産物を使用した加工品のブランド化を図り、付加価値をつけた農産物の生産を推進します。
【内容】
熊谷市農産物ブランド化推進協議会が行う、農産物及び農産物加工品のブランド化推進事業に要する経費について補助金を交付します。
〔事業内容〕
① 農産物及び農産物加工品のブランド認定をします。
② 市内農業者等で、農産物の生産や農産物加工品のブランド化にチャレンジするプレーヤーから事業プランを募集し、優秀プランに研究費等を支援､ブランド化を推進します。
③ 熊谷市の農産物と農産物加工品の情報発信をします。
【期待される効果】
・『熊谷といえばこれ』という農産物及び農産物加工品の情報を発信し、熊谷産の農産物の流通・販売量を増やすことにより、農業者の所得を向上させ、熊谷市の農業の活性化を図ります。
・ブランド化に『チャレンジする農業者等』を応援することにより、農産物の生産や農産物加工品の開発の意欲を喚起します。

2 特徴やPRポイント

・令和４年度に、農産物２件・加工品1件の農産物ブランド化を目指すプレーヤーの認定をしました。
・プレーヤーには「熊谷ファームラボ補助金」として３段階のステップアップ方式の補助金を交付します。

3 その他

・「熊谷ファームラボ補助金」
①農産物：STEP１=基礎研究=10万➡STEP２=収穫流通=15万
➡STEP３=ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化認定=25万円
②加工物：STEP１=基礎研究=30万➡STEP２=製品流通=45万
➡STEP３=ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化認定=75万円

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部農業振興課　　担当　田口
連絡先　℡ 048－588－9987（直通）　　内線　－

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」池上地区「道の駅」整備事業

1 事業概要

【目的】
（仮称）道の駅「くまがや」を整備することにより、道の駅としての機能に加えて、熊谷流の農業・食文化を「育てる」、「発信する」ことを通じ、産業、観光、市民活動を活性化し、住民や来訪者を「元気にする」地域活性化拠点を実現します。

【内容】
池上地内の国道１７号熊谷バイパスと国道１２５号の交差部に、「日本を代表する”食”のテーマパーク」をコンセプトとし、併せて未来の地域・社会の担い手である「子ども」の成長を支援するというテーマと「食」を掛け合わせ、設計コンセプトを「食×子ども」とした個性ある道の駅を整備します。
令和５年度は、ＰＦＩ事業者の選定及び盛土造成工事等に着手します。

【効果】
・農業振興、情報発信、地域交流の拠点として地域の課題解決に寄与するとともに、本市の魅力を全国にＰＲし、地域振興を図ります。

2 特徴やPRポイント

・駐車場やトイレのほか、新鮮な地元野菜や鮮魚などを購入できる農水産物直売所、レストランやフードコートなどの飲食施設、さらには、ファミリー層が安心して過ごすことができる屋内遊び場を設けます。
・熊谷市初のＰＦＩ事業により設計から運営までを一括して行うことことで、民間のノウハウを十分に活用することができ、コストの縮減、質の高い経営などが可能となります。

3 その他

令和４年度は、ＰＦＩ事業を実施するにあたり、事業者公募に係る要求水準書を作成・公表したほか、他埋蔵文化財の発掘調査、外周道路工事を実施しています。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　産業振興部東部地域開発推進室　　担当　村松
連絡先　℡048-580-4622（直通）　　内線　532